1. 2学期の学校の様子について(校長)

- ・学校だより8号~10号をもとに報告
- ・新1年体験入学の開催、オープンジュニア・ハイスクールへの参加について報告
- ・縦割り班活動の報告

学校だより「曙杉」の概要

- ・将棋教室 3年生が東神吉南小児童と交流を図った
- ・芸術鑑賞会 3年ぶりの開催
- ・令和7年度PTA新役員選出 来年度の体制が決定した
- ・避難訓練・震災関連行事(1・17) 30年の節目として開催
- ・授業参観 本日委員の皆様にも参観いただいた

(上記内容に関する質疑応答、意見交換)

委員1 3年生が実施している東神吉南小との交流を、中学校を前にした5、6年生でも実施できないか。

校長 将棋教室については、市の事業として東神吉小学校が受けたもので、同年代児童と交流が少ない本校児童の交流の場として、南小に声掛けして実現した。今後、児童数も少なくなることから修学旅行や自然学校の交流実施ができないか検討したい。

委員1 他校との交流も進めていただきたいが、教員の負担となることが内容実施検討いただきたい。

校長 了解した。

委員2 登下校の様子を見ていると登校時は登校ボランティアと一緒に登校しているが、下校時は子どもたちだけになるので、自分の身は自分で守る習慣をつけてもらいたい。

校長 1年生は交通安全教室を実施しており、他学年は学期終わりの地区児童会で話し合いの場をもっているが、今後様々な場面で指導していきたい。

委員3 孫が本校でお世話になっているが、掛け算の九九をいろんな先生に聞いてもらってうれしかった。小規模校であるが、いろんな先生とのかかわりがあればよいと感じた。

校長 掛け算の九九表を持って、いろんな先生に聞いてもらう場面があった。今後も複数の教員の指導や支援を行っていく場を増やしたい。

委員4 縦割り班活動のように異学年で交流するような場面も増やしてもらいたい。

校長 今年度は運動会でも縦割り班種目を入れ大いに盛り上がった。次年度も継続して取り組みたい。

2. 学校評価について

- ・学校関係者評価として、保護者、児童、教職員によるアンケート調査を実施し、5つの観点でA～D評価を行った。

(評価の状況)

- ・保護者アンケートから、「読書」「清掃」「あいさつ」の評価が低い。
- ・思いやりのある学級づくりや登下校時の安全指導、学校からの情報発信は評価が高い。
- ・教職員の評価については、全体的に「A」評価であった。
- ・総合的な評価では5観点のうち、3観点が「A」評価となった。

《参考資料》 ・令和6年度 学校関係者評価

(上記内容に関する質疑応答、意見交換)

委員4 評価のうち、保護者の評価と教員の評価の乖離がある項目があるので、その分はよく分析してもらいたい。

校長 読書や清掃活動については、学校にいる間、児童は積極的に行っているように感じている。家庭生活でもその習慣がつくような取り組みを実施したい。

委員1 評価の乖離があるのであればアンケート様式の検討も必要ではないか。

校長 評価の質問項目等について分析を行いたい。

3. 令和7年度校時表の見直し等について(校長)

- ・第2回で提案した校時表の案については、児童クラブとの必要→継続して検討
- ・3月の校時表を全学年5校時までとしたい。→時数的には十分可能

【学校運営協議会委員から】

委員5 教員の業務改善の一環として校時表の見直しは継続して進めてほしい。年間授業時数については問題ないか。

校長 年間総授業時数については、必須の履修時間は確保している。以前のように災害時休業日等を想定する必要がなくなったため、決められた時数を実施できれば可としている。

委員6 放課後の時間を十分確保して、教員と児童が自分の時間として十分活用してもらいたい。

校長 来年度の校時表(案)と本年度3月の校時表の見直しについて承認願いたい。

委員全 異議なし。